第９回 移民研究フォーラム

日本での労働移民受け入れと多文化共生

～技能実習生・定住外国人・ホスト社会の視点から共に考える～

2023年3月9日㈭／14時~18時／オンライン開催

開会挨拶：**明石 純一**（筑波大学）

趣旨説明・司会：**崔 玉瑶**（筑波大学）、**アシュレシャ マラテ**（筑波大学）、**佐々木 優香**（筑波大学）

プログラム

●趣旨説明・開会の挨拶（14:00~14:10）

●セッション１（14:10~14:55） 講 演

山崎 宏子（株式会社サーティファイ 東京事業部）

特定技能１号評価試験の意義を考える ―試験運営業務に携わった経験から―

●セッション２（15:00~16:00） 若手研究者による研究報告

村雲 和美（筑波大学大学院博士後期課程 日本学術振興会特別研究員（DC2））

緊急事態宣言下における業務や生活の変容 ―EPA インドネシア人看護師のケース―

大槻 薫子（筑波大学大学院博士後期課程 日本学術振興会特別研究員（DC2））

介護施設に従事する外国人技能実習生の現状と課題

●セッション３（16:15~17:45） ANBEC（一財･日伯経済文化協会）実践報告「外国人労働者の受け入れとホスト社会市民」

栗田 政彦（ANBEC 専務理事・企画総括 / 経営士）

支援の概念からリスクマネジメント・社会投資への概念変革
―ブラジル人等定住外国人労働者第二世代への地域ぐるみ人材育成に向けて―

中嶋 ひろ（ANBEC 教育・職育コーディネータ /1級キャリアコンサルティング技能士）

ブラジル人等定住外国人労働者と技能実習生増加・職域拡大
―技能実習生との共存とブラジル人労働者子弟への教育と職育活動―

木本 結一郎（ANBEC 理事 /（株）ウニードス（Kyodai Remittance ほか代表取締役）

国際労働力の流動と日本 ―技能実習生等外国人労働者受け入れ周辺企業実務からの考察―

［主催・助成］
2022 年度筑波大学社会貢献プロジェクト「定住外国人児童に対する『職育』プログラム」
2022 年度科学研究費挑戦的研究（開拓）「国際移民の統合に関する実証分析と理論的制度設計に基づく地域社会実装研究」

［申込方法］
リンクか QR コードから申し込みフォームにアクセスし、必要情報をご入力ください。
（https://forms.gle/1FEi2wupqCsRmZh3A）
3 月 7 日（火）〆切（前日に ZOOM の URL をお送り致します。）

連絡先　運営事務局　アシュレシャ マラテ (aashlesha.a.marathe@gmail.com)
崔玉瑶（s2220085@s.tsukuba.ac.jp）